

新築・リフォーム・建替え・二世帯・買い替え・売却をお考えの方へ
アメックスホームの日常がわかる社長の家づくり情報誌です。

3月号

春を感じる！！

皆様こんにちは秋山です。

もう3月、早いですね！ 3月は「別れの季節」という気持ちが私にはあります。卒業だったり。。。転職だったり。。。で、毎日、当然の様に過ごした仲間と4月から会えなくなると悲しんでいる皆さんも多いと思います。良く「別れもあれば、出会いもある。」なんて言う方が居ますが。。。

半年くらいは何か寂しい気持ちになりますよね（涙）

私も先日、取引先の営業マンから電話があり「金沢に転職になります。」と寂しい電話を頂きました。

男の人が転職でもさほど悲しいと感じた事はありませんが。。。 (笑)

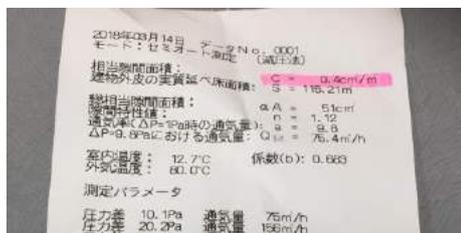
しかしこの男子営業マンは私にとって頼りになる営業マンでした。

それは、2020年に建築における国の決め事（法律）が変わります。

大まかに言うと、建てる家の性能を数字で表さなければならなくなります。いよいよ日本の住宅も性能を言う家づくりに変わっていく方向に舵を切りました。日本の住宅は30年しか住めないと言われてはいますが、**実は災害や劣化などではなく住みづらいから自分たちで壊して建て直しているんです。**

はなきりんで勉強した**安心・安全・快適・健康**を考えて住宅計画をしていけば、30年で家を壊す事は無いと思います。

先日測定した
結果です。→
0.4でした。



暖かい家＝健康の住宅づくりには高断熱高気密が必要不可欠です。

この営業マンは高気密の施工提案を真剣に考えてくれて、現在、安定した気密が取れる様になりました。気密を表す数値としてC値が使われます。簡単にいうと機械で建物の空気を強制的に出してみるとスキマがあれば沢山空気が入ってきますよね！この空気の量を測ったのが、C値です。国は1以下にろと言いますが、私の考えるところ0.5以下にはしたいですね！

いい出会いが出来た事に感謝して、彼が違う地域でがんばれる事を祈りたいです。

〇〇さん、ありがとう！

～のび太は部屋のせいで勉強ができない?～

ドラえもんに依存する、勉強が苦手な、のび太君。実は「部屋のせいで勉強が苦手」という説があります。（都市伝説みたいな。。。）

その理由とは!?!。。。

1.集中しにくいレイアウト!?

勉強机の真正面が南向きの窓であるため、マブシイし、往来が気になり勉強に集中出来ません（笑）また勉強椅子のすぐ右後ろが襖になっていて、背後から突然誰かが入ってくる可能性があり、これも集中力を削ぐ原因になります。
※襖の場所は作品、年代によって変わっているようです。



2.暑くて寒い!?

天井は無断熱、壁にも 1970 年代の一般的な住宅であれば、まともな断熱材は入っていません。
しかも、ガラスが複層である可能性はほぼゼロ。
冬は相当寒いはず。一方、日射を遮る庇が小さく、エアコンも見当たらない為、夏は危険な暑さだと想像されます。（熱中症に良く鳴らなかったなーあー）



建物の性能は、源 家（しずかちゃん）出木杉 家（のび太クラスメイト秀才）もそれほど、のび太の家と変わらないと推測されますが、一方の、勉強机は窓に面しておらず、集中し易いレイアウトになっていました。
賢い人は、どんな状況でも勉強できるので、部屋のせいだけで勉強の出来不出来が決まるとはいえません。。。（笑）

しかしながら、現代の家づくりでしたら、断熱はしっかりした上で暖房、冷房の仕組みを整え、のび太の部屋風のレイアウトになっているのであれば、窓と勉強机の関係を見直したら良いかもしれませぬ。ただ!?!自分の部屋で勉強した子供とリビングで勉強した子供では国立大学に入学する人数はリビングで勉強した子供の方が多いいみたいですよ！親としたら、国立大学に進学してもらいたいですよ（笑）大田理事長曰く。。。。小さい時から「国立」「国立」「国立」「国立」と念仏を唱えれば実現する様です（笑）

～断熱改修で住み心地改善～

今住んでいる家を「暑さ寒さを辛抱することなく快適な温度湿度環境の中でリラックスして暮らせる家に」近づける上での大きな障害は断熱が悪い事です。

家の壁や床、天井に手を加えて断熱改修するのは、大事業ですが、それでも今後の暮らしを考えるとやる値打ちは大いにあります。

外壁の外装材がサイディングや金属張りの場合は、通常 10 年以上前の断熱材は今どきの物に比べてひどい物が多かったし、全く断熱材が入っていない家も少なくないので、外装材を剥がして柱と柱の間に新しい断熱材を充填します。
外壁材を剥がせば、居住しながらでも工事が出来ます。

さらにその上から樹脂断熱材を外張りすれば断熱性能は驚異的に向上します。

木造ではなく鉄骨造りの家は柱間に断熱しても効果が乏しいので、柱の外から良質の樹脂断熱材を 50 mm 以上外張りします。

タイルや塗り壁外装の場合は内壁を剥がして工事をするので専門家に見てもらった方が良いでしょう！

今やる事は見た目の改修ではなく、断熱改修だと、私は考えます。暖かい家に住む事で健康になる事は著名な先生方が発表しております。（記事が見たければ連絡ください。）

冬場において日本の住宅は死亡率が非常に高いと言われてます。この長野県も非常に高いレベルです。お金をどう使うかはじゆうですが（笑）「生涯」「何故」をよく考えてリフォーム計画をしてくださいね！

ウレタン
充填断熱
↓



発砲スチロール
で外張り断熱→



ややこしいよ！



西村のつぶやき

先日お客様と打ち合わせをメールでやりとりしているところ、

“ここを〇〇にしたいのですが”

と言われ、図面を直してメールを送りました。

返事が来ました。 “そこは大丈夫です” と

このメールを見た時に私の頭の中は???

直した図面がOKの大丈夫なのか

直した図面がNOの大丈夫なのか

若い人達は“大丈夫です”という言葉を通り文句として使うことがあり、

私にはどう判断すればよいのか迷うことが多々あります。

“付き合ってください”と頭を下げ右手を差し出したら

“大丈夫です”と言われる！ 柔らかな断りをしているのですが、

“ごめんなさい”と頭を下げたほうがよっぽど誠意があると思いませんか！

まだメールの続きがあるので。

直したのがNOの大丈夫だと判断し、又図面を書き直して送りました。

返事が来ました。 “大丈夫です” と

今度の大丈夫はOKの大丈夫らしい。

ややこしいよ！ (笑)

イベントスケジュール

恒例の

家づくり祭り

2018年5月19日土曜日
10時～17時

2018年5月20日日曜日
10時～16時

施工現場見学

随時

今進行中の現場を見学したい方はご連絡ください。構造見学会などイベントでやっている時ではなくて、普段の現場の状況をご覧ください。

当日で構いません。

現場がきちんと整理整頓がされているのか？これ業者決定に一番重要なんです。
見学者が来ると分かっていたら誰でも現場をキレイにしますよね！
急に見せてくださいと言って、今日はちょっと無理ですは怪しいですよ！
今はウレタンの断熱材を施工して、外張り断熱を施工してます。
もうすぐ床板の施工になります。無垢の床板 ヨーロッパホワイトオークです。

～防水・断熱検査～

先日、第三者機関の防水施工と断熱施工の検査を受けました。自分の目は人間だから優しくみてしまうもの、でも、第三者だったらお客様側に立ち、しっかりアラを探してくれます（笑）職人の施工スキルが上がります。いいことだらけです（笑）人間なので忘れたり、勘違いもありあります。恥ずかしい写真をごらんください。

これは防止テープの欠損です。サッシの上端には貼らなくていいと職人が勘違いした例です



この様に修正→



これは防水シートが下に入り込んでいますが上面のかぶりが少ないです。反対方向に10cmかぶさないとダメです。電線周りに防水テープ無



防水テープにて修繕→



柱や間柱の際にはスキマげ出来やすいです。この様に細かくチェックが大切です。↓
補修後、防湿フィルムをテープにて補修です。

